

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

1 井上久美枝委員

【御意見】

ちょっとだけ働きたいなどの取組は、やはり性別役割分担意識が根底にあるのではと考えられる。

【回答】

会議時の内閣府からの回答に加えて、当事務局の説明資料に掲載した岡山県奈義町の事例（しごとコンビニ）については、多様な働き方を実現するため、働く意欲のある人の背中を押す狙いもあると認識している。

例えば、奈義町では、しごとコンビニを活用した市民の皆さんから、「子育て中のちょっと手が空いた時間に働けるので助かる。」「ブランクを気にせず、仕事の感覚を取り戻す練習の場になっていい。仕事に復帰する自信になった。」との声も挙がっている。

2 大崎麻子委員

【御質問】

地方創生では、ジェンダー平等を地域の施策に落とし込む際にどのようにデータを活用しているか。

【回答】

地方公共団体においては、当該地方公共団体における人口動向分析・将来人口推計等を踏まえつつ、地域の実情に応じて域内の人口の現状と見通しを示した「地方人口ビジョン」や「地方版総合戦略」を策定するなどし、女性活躍の取組も含む各政策に御活用いただいている。

なお、当事務局においては、地方公共団体における人口動向分析・将来人口推計等を支援するため、関係省庁と連携して、基礎データの提供や、分析に関する支援等を実施している。

3 小林哲也委員

【御質問】

- (1) 地域の安全安心と言え、医療問題があるが、地域医療についてどのように取り組んでいるのか。
- (2) デジタル田園都市国家構想交付金（デジ田交付金）は、デジタル技術の活用がないと採択されないのか。

【回答】

- (1) 医療制度については、主に厚生労働省が対応していると考えますが、当事務局の取組としては、医療分野においても地域の実情に応じて工夫する地方公共団体の取組をデジ田交付

金で後押ししている。

Digi 田甲子園においても、医療分野の取組について応募事例があり、表彰を通じて取組を知った他の地方公共団体が、導入を検討している事例もある。

【Digi 田甲子園ウェブサイト：分野毎に検索可能】

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/koshien/index.html>

(2) デジ田交付金には、以下の4つのメニューがある。

- ・デジタル実装タイプ：単年度のデジタル実装に必要な経費を支援
- ・地方創生推進タイプ：複数年度かけて主にソフト事業に関する経費を支援
- ・地方創生拠点整備タイプ：主にハード事業に関する経費を支援
- ・地域産業構造転換インフラ整備推進タイプ：半導体等の大規模な生産拠点整備について関連インフラの整備を支援

このうち、当日の会議において説明した、地方創生推進タイプ（先駆型・横展開型・Society5.0型）の対象経費や評価基準については、以下のウェブサイト掲載資料の4～10ページに掲載している。

※最も活用が多い「横展開型」の評価基準は URL 資料の7ページの右側を参照。

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/kouhukin/senku/pdf/denenkohukin_suishin_2023_gaiyou.pdf

上記資料の7ページに記載のとおり、評価項目の1つに「デジタル社会の形成への寄与」という項目を設けている。本項目においては、事業を進めるに当たり、デジタル技術ツールとして、効果的に活用しているかどうかを評価している（評価基準の詳細は URL 資料の10ページを参照）。

女性活躍関係の採択事業について、例えば、

- ・愛知県豊橋市（22ページの右側）の事業では、「1歳児未満を育てている家庭が活用できる家事支援サービスを利用できるアプリサービスの構築、実証」
- ・愛媛県、四国中央市及び西予市（URL資料の23ページの右側）の事業では、「仕事と家庭の両立や女性活躍に熱心に取り組む企業を認証する「新ひめボス宣言事業所」制度の創設」

などを支援している（毎年度、1,000事業以上の採択を行っているため、HPに掲載している事業はあくまで一例）。

このように、必ずしもデジタル技術の活用が事業の中心であることまでは求めておらず、あくまでツールとして効果的に活用しているかどうかを審査において評価している。

女性活躍をはじめとした様々な施策にデジ田交付金を活用いただけるよう、引き続き普及啓発に努めてまいりたい。

4 治部れんげ委員

【御質問】

豊岡市の取組を地方創生の女性活躍の事例にしてほしい。

【回答】

当日の御説明でも多くの情報をいただき、大変ありがとうございました。是非、参考にさせていただきます。